



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2017年(平成29年)12月5日号 No.1745

## 目次

■ <b>大統領選挙を見据えたロシア諸地域の動き</b> .....	中馬 瑞貴 1
■ <b>統計速報</b> .....	8
2017年1～10月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／8	
2017年1～10月の日ロ貿易／9	
■ <b>エトセトラ</b> .....	10
月例報告会「2017年のロシアの回顧と今後の展望」／10	
■ <b>キーパーソン</b> .....	11
キルギスでジェエンベコフ新大統領就任／11	
■ <b>トピックス</b> .....	11
JALとアエロフロートが包括的業務提携／11	
丸紅と商船三井が露ノヴァテクと共同調査／12	
日本がウクライナ国民のビザ発給緩和／12	

## 大統領選挙を見据えたロシア諸地域の動き

ロシアNIS経済研究所 研究員  
中馬 瑞貴

### はじめに

ロシアでは9月25日から10月12日にかけて、11の連邦構成主体で首長が解任され、2018年9月に行われる統一地方選挙まで代行を務める後任がプーチン大統領によって任命された。一定期間にいくつもの連邦構成主体で首長が交代することは最近のロシアでは決して珍しくない。2017年1～4月にも8人の首長が解任されている。当時任命された代行は9月10日に行われた統一地方選挙で当選を果たし、正式に首長に就任した(詳細は『ロシアNIS経済速報』2017年9月15日号参照)。

今回の一連の動きは2018年3月に予定されている大統領選挙を見据えたものと考えられており、専門家の注目を集めている。ロシアでは地域首長は住民の選挙で選ばれているものの、実際には連邦大統領や連邦政府との関係が非常に密接、かつ重要である。そこで本稿では、まもなく大統領選挙を迎えるロシアにおける地域首長を巡る一連の動きについて紹介し、大統領選挙との関連も含めて考察する。

なお、『ロシアNIS調査月報』2018年1月号(12月20日発行)では、ロシア・NIS諸国の諸地域の動向に焦点をあてる特集を予定しているので、そちらの方もご利用いただきたい。